

令和3年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：世界展開する海外日本研究者に学ぶ 東アジアにおける知の伝播のあり方
— 漢籍の受容から考える —
2. 事業種別：共催
3. 申請者：中根 千絵（愛知県立大学日本文化学部国語国文学科 教授）
4. 共催：愛知県立大学日本文化学部、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年10月27日（水） 14:00～17:00
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 講師：曹 景恵 氏（国立台湾大学文学院日本語文学系所 副教授）
8. コメント：斎藤 夏来 氏（名古屋大学人文学研究科 教授）
上川 通夫（愛知県立大学日本文化学部 教授）
9. 参加者数：180名（一般・学生）

【概要】

学長挨拶で、カノンとして西洋にはラテン語書籍、アジアには漢籍があるという本講演の世界的な位置づけがなされた後、台湾大学と結んで曹先生の講演を実施した。講演内容は老子の注釈書が日本文学（徒然草、沙石集）や中世神道書にいかに関与を与えたかというもので、上川先生と斎藤先生から漢籍の影響が一般の人や武家にもあった例が示された後、聴講者との活発な質疑応答が行われた。学部長挨拶で近世の例も披露され、全体に充実した講演会となった。

【チラシ】

愛知県立大学国際シンポジウム
世界展開する海外日本研究者に学ぶ

東アジアにおける知の伝播のあり方

— 漢籍の受容から考える —

【日時】 2021年10月27日（水）
14:00-17:00 オンライン開催 (Zoom)

【講演】 **曹 景恵** ソクケイ
（国立台湾大学
文学院日本語文学系所副教授）

【コメント】 斎藤 夏来（名古屋大学人文学研究科教授）
上川 通夫（愛知県立大学日本文化学部教授）

【参加方法】 本学地域連携センターウェブサイト「<https://www.cslu.aichi-pu.ac.jp/rekai/>」
にアクセスいただき、「世界展開する海外日本研究者」より予定の申込メール
フォームに情報をご入力ください。

【お問い合わせ先】
愛知県立大学国際シンポジウム
愛知県立大学国際シンポジウム事務局
TEL: 0561-79-5000 内線2611
E-mail: rekai@cs.cslu.aichi-pu.ac.jp
愛知県立大学日本文学部
共催：愛知県立大学地域連携センター

愛知県立大学
AICHI PREFECTURAL UNIVERSITY

愛知人文社会科学研究所
AICHI INSTITUTE OF HUMAN AND SOCIAL SCIENCES

【講座の様子】



【講座の様子】

